

製品安全データシート

混合物用（塗料用）

整理番号：SAFE FSO

製造者情報	会社名	三精塗料工業株式会社		
	住所	〒639-1037 奈良県大和郡山市額田部北町 1261-5		
	担当部門	研究開発部	電話番号	0743-56-8611
	E.mail	VZA02034@nifty.ne.jp	FAX番号	0743-56-8621
	Home Page	http://www1.kcn.ne.jp/~kikyuu/	作成・改訂	平成16年02月01日
製品の特定	製品名	ホルマリンシーラー		
	製品説明	種類：セラック樹脂系 自然塗料 F 、VOC対策塗料 主な用途：合板などからの化学物質の放散の遮蔽		
物質の特定	成分及び含有量（危険物有害物質を対象）			
	成分名	CAS No.	含有量	備考
	セラック樹脂	9000-59-3	20-30 %	
	エタノール	64-17-5	10-20 %	
	グリセリン	56-81-5	0-5 %	
危険有害性の分類	分類の名称：引火性液体、急性毒性物質			
	危険有害性コメント 燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。 有機溶剤中毒を起こす恐れがある。 健康に有害である。急性又は慢性のリスクがある。			
製品の物理/化学的性質	状態	液体 []、気体 []		
		固体：固形状 []、粉末状 []、ペースト状 []		
		色：淡黄色透明 臭気溶剤臭		
	沸点	78 ~	蒸気圧	Pa ()
	密度(比重)	0.88 ±0.05	pH値	該当しない
その他	特になし			
危険性情報	引火点	25	発火点	420 (エタノールとして)
	爆発限界	(下限) 1.7 %	(上限)	15.0 %
	反応性 安定性	接触により危険性のある物質：酸化剤 燃焼等による有害ガスの発生：CO ₂ , CO その他の反応情報：特になし		
有害性情報	組成物質の有害性及び暴露濃度基準			
	物質名	管理濃度	ACGIH(TLV)	IARC
	セラック樹脂	-	-	
	エタノール	-	1000 ppm	
	グリセリン	-	-	
組成物質に関するその他の有害性情報 情報を持っていない。				
製品に関する有害性情報 製品としての安全性試験は行っていない。				
輸送上の注意	取り扱い及び保管上の注意の項の一般的注意に従う。 陸上輸送：消防法・労働安全衛生法・毒劇物法に該当する場合は法令に従って輸送する。 船舶輸送：船舶安全法の定めに従うこと。航空輸送：航空法の定めに従うこと。			
	主な適用法令	労働安全衛生法：危険物（引火性の物）、有機則（第2種有機溶剤含有） 消防法：第4類 第二石油類（非水溶性） 指定数量：1,000 L 毒物及び劇物取締法：非該当 船舶安全法：中引火点引火性液体（クラス：3.3） 国連番号：1263		

<p>応急処置</p>	<p>目に入った場合 直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗うこと。 医師の診断を受けること。</p> <p>皮膚に付着した場合 付着物を布にて素早くふき取る。 大量の水及び石鹼又は被扶養の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シナー等は使用しないこと。 外観に変化が見られたり、痛みがある場合には、医師の診断を受けること。</p> <p>吸入した場合 蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。 呼吸が不規則か、止まっている場合には、人工呼吸を行う。 嘔吐物は飲み込ませない様にする。直ちに医師の手当を受けること。 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所で安静にし、医師の診断を受ける。</p> <p>飲み込んだ場合 誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。 嘔吐物は飲み込ませないこと。</p>
<p>火災時の措置</p>	<p>使用可能消火剤 水 [×]、炭酸ガス []、泡 []、粉末 [] 乾燥砂 []、その他 []</p> <p>消火方法 水を消火に用いてはならない。 消火活動は風上から行う。 適切な保護具（耐熱性着衣等）を着用すること。 指定の消火器を使用すること。 可燃性のものを周囲から、速やかに取り除くこと。 高温にさらされる密閉容器は水をかけて冷却する。</p>
<p>漏出時の措置</p>	<p>付近の着火源、高温体及び可燃物を速やかに取り除く。 作業の際には適切な保護具（手袋、防護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。 乾燥砂、土、その他不燃性の物に吸収させて回収する。大量の流出には、盛り土で囲って流出を防ぐ。 漏出物は密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。 付着物、廃棄物等は、関係法規に基づいて処理をする。 着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。 火花が発生しないように、プラスチック製の用具を用いて回収する。 河川などへ排出され、環境への影響を起ささないよう注意する。</p>
<p>取扱い、保管上の注意</p>	<p>取扱い上の注意 換気の良い場所で取り扱う。 容器はその都度、密栓する。 周辺での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。 工具は火花防止型のものを用いる。 静電気対策のため、装置等は接地し、電気機器類は防爆型（安全増型）を使用する。 皮膚、粘膜、又は着衣にふれたり、目に入らないように適切な保護具を着用する。 使用済みウェス、塗料かす、スプレーダスト等は廃棄するまで水に漬けておく。 取扱い後は、手・顔等をよく洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まないこと。 密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を設け、適切な保護具を着けて作業する事。 作業中は静電気帽子型の作業服、靴を使用する。</p> <p>保管上の注意 通風のよいところに保管する。湿気をさけること。 日光の直射を避ける。 盗難防止の為に施錠保管する。 火気、熱源から遠ざけて保管する。</p>
<p>暴露防止装置</p>	<p>設備対策 取扱い設備は防爆型を使用する。 排気装置をつけて、蒸気が滞留しないようにする。 液体の輸送、汲み取り、攪拌などの装置については、アースを取るよう設備すること。 取扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれられないよう設備とすること。 屋内作業の場合には、自動塗装機等を使用する等、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により、作業者が蒸気などの暴露を避けられるような設備とすること。 タケ内部等の密閉場所で作業する場合には、密閉場所、特に、底部まで十分に換気できる装置を取り付ける。</p> <p>保護具 呼吸器系の保護：有機ガス用防毒マスクを着用する。密閉された場所では送気マスクを着用する。 目の保護：保護眼鏡を着用する。 皮膚の保護：有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。 その他の保護具：静電塗装をする場合には、通電靴を着用する。</p>
<p>環境影響情報</p>	<p>漏洩時、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意すること。</p>
<p>廃棄上の注意</p>	<p>廃塗料、容器などの廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。 容器、機器等装置等を洗浄した廃水などは、地面や排水溝へ、そのまま流さないこと。 廃水処理、焼却等により発生した廃棄物についても廃棄物の処理及び清掃に関する法律や法規に従って処理を行うか、処理を委託すること。 廃棄塗料等を焼却処理する場合には、珪藻土等に吸着させて開放型の焼却炉で少量ずつ焼却する。 廃棄物等を焼却処理する場合には、有毒ガスを発生する為、適切な除去装置のある焼却炉を使用する。</p>
<p>その他</p>	<p>主な引用文献 日本塗料工業会編集「原材料物質データベース」 溶剤ポケットブック 危険防災救急便覧 国際化学物質安全カード（ICSC） 化学工業日報社「化学品安全管理データブック」</p>

（注）危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。